

広域後代検定に係る共同利用種雄牛の能力評価結果について

- 1 家畜改良センターでは、広域後代検定に係る能力評価を毎年実施していますが、この度、新たに能力評価結果が判明した40頭のうち、7頭が新たに共同利用種雄牛として、農林水産省により選定されましたので、その評価結果を公表します。

所有県	名号	登録番号	父牛	母の父牛	枝肉重量(kg)		日齢枝重(kg/day)		遺伝子保有 始祖個体
					育種価	正確度	育種価	正確度	
北海道	晴金平	黒原5681	平茂晴	金幸	99.455	0.93	0.139	0.93	栄光
茨城県	日出丸105	黒14808	北平安	平茂勝	100.153	0.89	0.114	0.90	茂金波
鳥取県	関5双葉3	黒原5678	福西松	第2平茂勝	93.235	0.89	0.114	0.89	
島根県	茂勝華	黒原5781	茂洋	平茂勝	66.223	0.89	0.095	0.89	茂金波
佐賀県	忠博	黒15050	勝忠平	平茂勝	71.404	0.92	0.086	0.93	栄光
長崎県	隼勝忠	黒原5887	勝忠平	平茂勝	54.226	0.90	0.068	0.90	栄光
大分県	睦美幸	黒14993	茂洋	寿恵福	48.013	0.88	0.054	0.89	茂金波、第六藤良

- 注1) 広域後代検定とは、農林水産省が推進している、肉用牛の優良種雄牛を作出し、広域的に利用するための検定であり、これまで20道県の参加を得て、平成14年度から29年度までに821頭の検定が終了しました。
- 2) 育種価とは、親から子へ伝えられる平均的な遺伝的能力の価値であり、親の育種価の1/2が後代に伝達されます。評価対象の集団が異なるため、各道県で算出されている育種価とは比較することはできません。
- 3) 正確度とは、予測された育種価が真の育種価をどの程度正確に反映しているかを表す値であり、両者間の相関係数です。記録をもつ子の頭数等の影響を受けます。
- 4) 遺伝子保有始祖個体には、遺伝的多様性の確保の観点から重要な系統と位置付けられる系統の始祖個体の遺伝子を保有する確率が、共同利用種雄牛の選定方針で定められている基準を満たす場合、その始祖個体名を表示しています。なお、選定方針で重要な系統と位置付けられる系統の始祖個体は、「茂金波」号（熊波系）、「栄光」号（栄光系）、「第六藤良」号（藤良系）、「第三八の一岩田」号（38岩田系）、「城清」号及び「奥城土井」号（城崎系）です。

- 2 詳細につきましては、家畜改良センターのホームページの [トップ](http://www.nlbc.go.jp/kachikukairyo/iden/index.html) > 家畜改良 > 遺伝的能力評価 (<http://www.nlbc.go.jp/kachikukairyo/iden/index.html>)

に「新たに選定された共同利用種雄牛の評価結果」、「過去に選定された共同利用種雄牛」及び「評価方法の詳細」を掲載しておりますので、ご参照下さい。

お問い合わせ先

独立行政法人家畜改良センター改良部情報分析課

担当者：矢内、細野

電 話：0248-25-4904（直通）

F A X：0248-25-3982

U R L：(<http://www.nlbc.go.jp/>)

『日本の畜産 改良と技術で育てます』